

調査・視察・**研修**等実施概要報告書

No. 1

研修名	『人口減少と高齢化への挑戦』～自治体・地方議会の知恵～
研修者	佐藤仁一
実施日	平成27年5月28日～5月29日
研修先	明治大学（東京・駿河台）
講師	穂坂邦夫(日本自治創造学会理事長)・金井利之(東京大学大学院教授)・土居丈朗(慶應義塾大学教授)・藤原豊(内閣府地方創生推進室次長)・小田切徳美(明治大学教授)・辻琢也(一橋大学大学院教授)他、
参加者数	300名
研修内容	<p>第1部 講演 ～地方議会の挑戦～ 第2部 激論 ～地方創生は国の役割か～ 第1日目は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方議会の挑戦—選挙と改革— 日本自治創造学会会長 ・人口減少を克服する議会の知恵 金井利之(東京大学大学院教授) ・地方財政を取り巻く医療・介護の動向—地域医療構想と介護保険制度改革— 土居丈朗(慶應義塾大学教授) ・高齢社会を乗り越える地域協働 牛山久仁彦(明治大学教授) <p>上記講師の講演と意見交換を行いました。</p> <p>第2日目の午前中</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用拡大する地方の知恵—地方創生特区— 藤原豊(内閣府地方創生推進室次長) ・市民協働を生かす地方議会の知恵—生き残りをかける議会の政策能力— 廣瀬克哉(法政大学教授)の講演と意見交換を行いました。 <p>午後には、「地方創生は国の役割か」のタイトルで『激論』、農山村再生への戦略の立場から小田切徳美(明治大学教授)、コンパクトシティ推進の立場から辻琢也(一橋大学大学院教授)がリードして、参加者を巻き込んだ意見交換となりました。</p>
研修感想	優れた講師と講演内容が良く、質疑含めて意見交換の時間が足りなかった。激論では旧知の小田切徳美(明治大学教授)氏が地方力(田舎)の農山村再生のフレームワークを示して、コンパクトシティの都市再生戦略と対峙する国土適正振興を激論、ともに先進的な事例や行政・市民の役割を提言、大変示唆に富んだ研修となった。